



京都市立桃陽総合支援学校

京都市立桃陽総合支援学校は病気やけがで入院している小・中学校の児童生徒が学ぶ学校です。「教育の場」として「本校」「国立病院(京都医療センター)分教室」「京大病院分教室」「府立医大病院分教室」「第二赤十字病院分教室」、そして京都市の東部と南部の病院に入院している子どもたちには「訪問教育」があります。

「本校」では心身症や摂食障害・起立性調節障害・不安障害等が原因で登校しにくくなった子どもたちが、隣接する京都市桃陽病院に入院しながら学校生活を送っています。医療と連携しながら指導計画を立て、個のニーズに応じた教育を行っています。

総合育成支援教育相談センター(「育」支援センター 桃陽)として地域支援も行っています。



相談内容

病気や怪我で入院している子、からだや心の不調を訴えて学校を休みがちな児童生徒・保護者への教育相談、就学相談等に応じます。



来校相談

本校、分教室においては、担当者が相談や指導の支援等を行います。
同時に病院等の案内も行います。



訪問相談

学校、施設、病院等へ担当者が出向いて支援等を行います。



利用時間

月～金曜日 午前9時30分～午後4時30分



費用

無料



問合せ先

京都市立桃陽総合支援学校

〒612-0833 京都市伏見区深草大亀谷岩山町48番地の1

TEL (075)641-2634

FAX (075)641-2648

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/toyo-y>

